

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	林業課長 桑本	電話番号	0852-22-5167
----------	---------	------	--------------

事務事業の名称	森林整備地域活動交付金事業		
目的	(1) 対象	森林所有者及び林業事業者	
	(2) 意図	林業事業者等に森林施業を集約化させ、計画的かつ一体的な森林施業を推進する	
事業概要	森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう、森林経営計画等による計画的かつ適切な森林整備の推進を図るため、意欲と能力を有する林業事業者等による下記の地域活動に対し、交付金制度により支援する。 ①面的なまとまりを持って作業路網や森林施業に関する計画の作成を促進「森林経営計画作成促進」 ②森林施業の集約化（集約的な間伐）を促進「施業集約化の促進」 ③計画的かつ一体的な森林施業を実施する上で必要な既存路網の改良「森林経営計画作成・施業集約化に向けた条件整備」 ④森林施業等の実施の前提となる境界の確認「森林境界の確認」		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	森林経営計画策定同意面積	目標値	4,500.0	9,000.0	13,500.0	18,000.0	ha
	式・定義	森林整備地域活動支援交付金で森林経営計画策定の同意が得られた面積の累積	取組目標値					
			実績値	0.0				%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	85,354	82,150
うち一般財源 (千円)	21,251	27,150

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

森林経営計画の作成と施業集約化への取組み、またその取組みに向けた既存路網の簡易改良へ支援したことにより、計画的かつ一体的な森林施業を推進する団地である「森林経営計画」の県内設定面積（カバー率）は37%となったが、更なる取組みが必要。今後とも木を「伐って使って、植えて育てる」循環型林業の確立に向け、森林経営計画の策定や集約化を推進していく必要がある。現在、11市町が事業実施中。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

森林経営計画の作成に同意があった森林面積はH27年度 約4436ha、(H26年度 3368ha)であり、森林経営計画の作成促進に貢献している。
 また、施業集約化（間伐）の促進については、179haの実施同意を取得しており、間伐の推進に貢献している。
 地方機関と連携した働きかけにより、H27年度途中から浜田市が取り組むことになった

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
森林経営計画策定の必要があるにもかかわらず、取り組んでいないまたは取り組みの低調な市町村がある
- ②困っている状況が発生している「原因」
市町村の予算的制約、事業者の人手不足
- ③原因を解消するための「課題」
市町村の予算確保、事業者の人手不足

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

森林経営計画の設定を着実に進めていくため、森林整備地域活動支援交付金事業を実施していない市町村、林業事業者等に対して地方機関と連携のうえ説明会等を開催し、事業の活用推進を図る。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）